

講義名	19-日本語A(読む)/15-日本語A【留学生科目】			
担当教員	辻 周吾			
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2時限	授業形態	演習	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考

主題と概要

毎回、日本語の記事を紹介し、それを読解します。テーマは、日本語と外国語の相違や、日本人と外国人のコミュニケーション・ギャップなどです。ワークシートの課題をもとに、これらの中に隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題をみつめます。また、記事の読解に必要な日本語能力を身につけます。

到達目標

- 現象や事象の中に隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題をみつめられるようになる。
- 記事の読解に必要な日本語能力を身につけ、活用することができるようになる。
- 異なる言語をもつ学生同士が議論することにより、新しい視点と豊かな発想など、新しい価値観を身につけられるようになる。

提出課題

ワークシート、宿題など、授業中に指示する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック

小テストの場合は、採点した後返却し、その解説を行う。レポートの場合は、学生からの要望により、講評による説明に応じる。

評価の基準

授業への参加度(30%)、授業課題の提出(20%)、中間課題(20%)、期末課題(30%)

履修にあたっての注意・助言他

- 毎回、出欠をとります。
- 15分以上の遅刻は、欠席とみなします。
- 授業には、辞書を持って来てください。

教科書				

プリント資料及び参考文献

授業中に、プリント資料を配布します。

授業計画

第1回：オリエンテーション/「日本語の語彙」に関する記事を読む
 第2回：「日本語の表現」に関する記事を読む
 第3回：「日本語の外來語」に関する記事を読む
 第4回：「日本語の方言」に関する記事を読む
 第5回：「日本語の言語文化」に関する記事を読む
 第6回：「日本人の非言語コミュニケーション」に関する記事を読む
 第7回：「コミュニケーション・ギャップ」に関する記事を読む
 第8回：「コミュニケーション障壁」に関する記事を読む
 第9回：「異文化理解」に関する記事を読む/中間課題
 第10回：「日本文化と中国文化」に関する記事を読む
 第11回：「日本人と中国人のコミュニケーション」に関する記事を読む
 第12回：「日本人とアメリカ人のコミュニケーション」に関する記事を読む
 第13回：「日本人とベトナム人のコミュニケーション」に関する記事を読む
 第14回：「日本社会と人間関係」に関する記事を読む
 第15回：「日本の企業文化」に関する記事を読む/期末課題

授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 事前に配布する資料について大意読みと精読を行い、分からない語彙や文法を調べる...各授業2時間程度
- 授業中に覚えた語彙や文法を確認し習得する...各授業2時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、日本語の読む技能について実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

日本語と外国語の相違や、日本人と外国人のコミュニケーション・ギャップなど、これらの問題に対し、学生同士、そして教員と学生間で議論する機会を設ける。

実務経験の有無及び活用

備考